

ディプロマ・ポリシー 音楽学部

【音楽学部】

音楽学部では、本学のミッションステートメントとディプロマ・ポリシーのもと、神戸女学院の教育の3つの柱をふまえ、音楽に関わる深い専門的知識と技術、芸術全般に関する幅広い教養を備え、音楽のもつ共感力を通して他者と関わり、芸術を通して地域社会や国際社会に貢献できる人格を養成します。

【音楽学科】

音楽学科では、学部の目的を達成するため、次の能力の修得を教育研究上の目的とします。

1. 音楽に関わる豊かな感受性と深い専門的知識・技術を備え、その感受性を論理的に説得力ある形で表現する能力
2. 多様な文化・社会に関する教養を備え、芸術作品の背景を理解する能力
3. 音楽が社会で果たす役割を感知し、音楽に関わる多種多様な企画を立ち上げ、その実現に向かって主体的に行動する能力
4. さまざまな共演者や多様な価値観をもつ他者とのコミュニケーション力を備え、演奏・創作やプロジェクトを通じてリーダーシップを発揮することのできる能力
5. 芸術家として高い倫理性をもち、音楽を通してより良い社会の実現のために活動できる能力
6. ソロリサイタル・卒業プロジェクトにおいて、学習の成果を構成し実演・プレゼンテーションできる能力
7. 卒業演奏・発表において、修得した専門性を公開の場で披露できる能力

<学位取得の要件>

音楽学部音楽学科では、以上の能力を修得し、卒業要件を満たした人に対して学士（音楽）の学位を授与します。

カリキュラム・ポリシー 音楽学部

【音楽学部】

音楽学部では、本学のミッションステートメントとカリキュラム・ポリシーのもと、神戸女学院の教育の3つの柱をふまえ、本学部ディプロマ・ポリシーに定めた能力をもつ人格を養成するため、音楽学科をおき、芸術分野の専門教育を実践するために以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

【音楽学科】

音楽学科では、本学科ディプロマ・ポリシーに定めた能力をもつ人格を養成するために、音楽表現専攻と音楽キャリアデザイン専攻の2つの専攻をおき、以下の方針に基づいてカリキュラムを編成します。

学生が専門的知識・技能を習得する音楽学科「メジャー科目」を設定します。

1. 器楽（ピアノ、オルガン、チェンバロ、弦楽器、管楽器、打楽器、ハーブ）、声楽、ミュージック・クリエイションの各専修領域の専門実技を追求する「音楽表現専攻専門科目群」を設定すること。また、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を検証するために、広く公開された場で専門的技能を披露する「ソロリサイタル」「卒業演奏及び卒業作品」という科目を設定すること
2. 音楽教育、音楽ビジネス、生涯教育の各分野に関する幅広い知識と教養を深め、音楽実技を広く学び、音楽の活動を通じたキャリア形成を追求する「音楽キャリアデザイン専攻専門科目群」を設定すること。また、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を検証するために、蓄積した専門性を用いて構成する「卒業プロジェクト」「卒業発表」という科目を設定すること
3. 音楽に関する基礎的理解を深め、音楽文化や芸術全般に関わる幅広い教養を身につける「音楽基礎科目群」「アンサンブル科目群」「選択科目群」を編成すること。また、他学科学生に対しては「オープン科目」「マイナー科目」を設定すること
4. 音楽に関わる多種多様な企画を立ち上げ実現し、コミュニケーション力とリーダーシップを育む「プロジェクト科目群」を編成し、「音楽インターンシップ」「イベント制作・企画」「リベラルアーツ」「音楽活動ポートフォリオ」という科目を設定すること
5. 多種多様な音楽業界や音楽に関わる職種で活躍できる専門性を体系的に身につける「音楽キャリアデザインプログラム科目群」を編成すること
6. 所定の教育課程とは別に、専門領域とは異なる音楽実技を学ぶ「選択実技科目群」を編成し、「副科実技」「第二専門実技」という科目を設定すること

<科目体系・番号・カリキュラムマップなど>

上記方針に基づく科目編成においては、体系性・系統性の理解を促すため、学問分野、科目間の連携や科目内容の難易度を表す科目番号および、必修科目、選択必修科目、選択科目などについての科目記号を学修便覧等につけ、なおかつ、教育課程の構造をカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリーで分かりやすく明示します。